

## 巻頭言

第29回大阪府作業療法学会終了のお礼  
「社会のニーズに応える人材育成  
～作業療法士の専門性で魅力ある生活支援を!～」第29回大阪府作業療法学会 学会長 吉田 文  
(大阪保健医療大学)

平成26年11月9日(日)、雨模様の中、第29回大阪府作業療法学会が開催された。全体で386名の方にご参加いただいた。実行委員・運営委員を入れると450名以上の方が、学会場に集まったことになる。まずは、このような多くの方にご参加・ご協力いただいたおかげで無事に学会を開催することができたことにお礼を述べたい。当日は、運営面で反省する点は大いにあるが大きなアクシデントなく終了できた。今回、運営では中堅・若手の人材を中心に協力を依頼した。2013年度の全国学会の経験が十分生かされ、各会場での対応はすばらしいものであった。次世代の府士会を担う中堅・若手の人材は豊富に育っていることが証明されたと考えている。

開会式では、公益社団法人大阪府理学療法士会会長大工谷新一様、一般社団法人大阪府言語聴覚士会会長藤井達也様にご挨拶いただいた。お忙しい中、来賓としてご出席いただいたことに深く感謝申し上げます。また、これまで大阪府作業療法士会が多職種とのネットワーク作りを大切にしてきた結果が各団体の会長のご出席という事実につながっているのだろうと感じた。顔が見える関係、声を掛け合って協力できる関係、今後も、歴代の会長や学会長、会員の皆様が地道に取り組んできた各団体との協力関係づくりを継続することが大切だと改めて実感した。

各会場は、それぞれ目当てのプログラムに参加する方で熱気にあふれていた。質疑応答も盛んに行われ、作業療法士が誠実にまた意欲的に日々臨床や研究に携わっていることが伝わってきた。その中でも生活を魅力あるものにする生活行為向上マネジメントや、早急な取り組みが必要な認知症対策など作業療法士の専門性が期待される多くのことを取り上げた。作業療法士にもっと地域に出てほしい、作業療法士が役立つ場面はたくさんある。顔が見える関

係作りで市民と共に行政を動かしてほしいといった熱い要望に対し、思いだけでなく作業療法士の具体的な取り組みについて語り合うことができたと思っている。平成27年度から始まる地域包括ケアシステム作りにおける地域ケア会議など、作業療法士が参加を要請される場面も増えてくる。中堅・若手を育てることに府士会が大きな力を発揮することは間違いない。学会で得た情報を一時的熱意に終わらせず、今後の作業療法士の活動、府士会活動へとつなげていくことに期待したい。

平成25年度11月ごろより、ほぼ1年にわたり第29回大阪府作業療法学会に携わらせていただいた。私自身は、学会運営だけでなく「自ら動く組織をつくるには?」という面でも大いに勉強させていただいた1年であった。作業療法士としても学ぶべき点は大きかった。新しくインターネットで学会抄録を登録するシステムを導入し、会員の皆様の利便性を高め、運営の負担を減少させるように努めたがいかがだっただろうか。途中準備が滞り協力してくださった多くの方にご迷惑をおかけしたことを申し訳なく思うとともに、最後まで協力してくれた仲間がいたことに深く感謝する。



## (一社)大阪府作業療法士会事務所が移転します

移転日：平成27年1月19日(月)

新住所：〒540-0004 大阪市中央区玉造2-16-8 玉造井上ビル6階

TEL：06-6765-3375(変更)

FAX：06-6765-3376(変更)

※電話、FAX番号のお間違えにご注意ください。詳しくは、本紙3ページをご覧ください。